

南米支部だより

當地は初夏の候と相成りました。

(中略) 天界其他を御送り下さいまして有難うございます。天界や其他の御發送の爲めの経費等も相當多額になる様で御座いますので會費を御拂ひ致して居る位ではとても追いつかないと存じます。大窪君、勝浦君もこれでは相すまぬから來年度からは年額日本金五拾圓以上は本部へ献金しなくてはなるまいといつて居ります。それで今年は米や豆の播付けも澤山することにして只今日曜日なしで働いて居ります。少し景氣さへ良くなりましたら年百圓といひましてもさほど苦痛ではないのですから何とか勉強致します。(中略)

先日三馬力の發電機を購入致しましたからこれからこれで裏の河(溝位です)の水力で研究所を電化するといふことになりました。今勝浦君が水車の設計をして居ります。その點あまり能のない私と大窪君は堤防の土運搬といふ役目をする事になつてゐます。完成は正月頃までと云ふ事になつてゐます。幻燈に之れを使つて大いに天文熱を普及する事になつてゐます。

9月2日(11月4日着信) 神 屋 信 一

觀測部員へ急告

天界十二月號で部費拂込をお願い致しました時に、ブレテン並に花山急報の發送を受けるため、從來の部員は今後配布用封筒(郵券添付)を豫め協會事務室宛送付しておくやう記載されてありましたが、此度當協會會計と事務の都合でこの件は全く取消に致します。従つて部員は年額 1.80 圓丈けを協會宛御送金下されば良しい。後は一切當協會で負擔する事に變更致しましたから御諒知下さい。

ブレテンの配布を受ける觀測部員へは「花山急報」は無料添付です。

「花山急報」丈け別に配布を受けたい方は豫め多數の急報配布用封筒(貳錢郵券添付)に急報一部壹錢宛の實費を添へ、花山天文臺急報係へ直接御申込下さい。